

学校教育目標
心豊かで しなやかに
生きる力 を育成する

西ノ京

京都市立西ノ京中学校
学校だより ⑨
令和元(2019)年12月25日
校長 内田 隆寿

令和初の2学期を振り返ろう！～新たなスタートのために～



今年の冬も暖冬との予想ですが、徐々に冬らしく冷え込みが増してきました。645年の「大化」から数えて248番目の元号である「令和」の時代が幕を開け、その元年もあと1週間を残すばかりです。これまで保護者や地域の皆様方には、本校の教育活動へ深い御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。2学期は、大きな行事がたくさんあり、それぞれの目的の達成に向け、生徒は一生懸命取り組んできました。これもひとえに、保護者や地域の皆様方のお力合いあってのことと重ねて感謝申し上げます。

生徒の皆さんは、この2学期、どのような成長を遂げたのでしょうか。2学期は暑い夏から寒い冬へと、まさしく季節が180度かわるくらいに期間が長く、また、様々な行事が目白押しで、身も心もひとまわりふたまわりと成長できる学期でした。そんな2学期が終わり、記念すべき令和元年も終わろうとしている今、ぜひとも家族の人と一緒に、自分自身を振り返ってみてください。

何かの節目節目に「自分の生活や行動・学びは今後の自分の生き方に向けた準備になっていたのかどうか」、そんな視点を持って振り返ってみることはとても大切です。色々なことを思い出しながら、一つ一つの行事や活動を通して身に付けたであろう新たな知識や技能、能力を確かめてみましょう。自己をしっかりと見つめ成長した自分に自信をもつとともに、それを糧として、それぞれの学年としての、また、個人としての目標に向かって歩みを進めてくれることを期待しています。ご家庭でも御協力をお願いいたします。



遅くなりましたが、本年度、3年生で実施した「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりました。本調査は、本年度から従来の知識・技能などを問う「A問題」と活用問題を出題する「B問題」（応用問題）という区分がなくなり、知識や活用を一体的に問う構成となって、記述式の問題も導入されました。さらに、今回初めて英語の調査も導入され、コンピュータを使った「話すこと」の問題も試されました。また、例年同様に家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、そこからわかる生活習慣と学力との関係など、本校生徒の状況や傾向をお伝えいたします。

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果と分析

総合結果 結果は、国語、数学、英語いずれのテストにおいても、全国・京都府平均と比べてとてもよくできています。その中で、特に数学と英語はともに相対的に高い結果が出ています。これらは、3年生が1年入学時から実施してきた学習確認プログラムの結果と重ね合わせてみても、生徒が着実に学習に取り組み力をつけてきた成果であると言えます。

各教科の状況や課題は次の通りです。



国語科より



学習指導要領の各領域すべてにおいて正答率が全国平均を上回っています。そして今回、記述力や考えを述べる力が注目される中で、問題番号3の二「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く」問題の「書くこと」（記述し自分の考えを述べる領域）が、全国平均を大きく（8ポイント）上回りました。また、それ以上に注目したい点、この記述式問題の無解答率の低さです。これは生徒がどんな問題に対してもあきらめず最後まで向き合おうとする姿勢の表れで、このことが良い結果に結びついていると考えられます。また、※問題番号1の三「文章に表れている物の見方や考え方について自分の考えを持つ」問題の「読むこと」の領域、問題番号1の四「封筒の書き方を理解して書く」問題の「言語事項」の領域も良好でした。特に「封筒の書き方を理解して書く」問題は、チャレンジ体験の事前学習でも学んだ内容ですので、総合的な学習の時間との関連効果も感じられます。

しかし、記述式問題のひとつである問題番号2の三「話し合いの話題や方向をとらえて自分の考えを持つ」問題の「話すこと・聞くこと」の領域が全国平均並みであったので、合意形成をしながら物事を決めることを目的とした話し合いを学習活動の中に取り入れるなど、今後の課題であると考えられます。

※図1

三 「みんなの短歌」に掲載されている内山さんの短歌、森川さんの短歌、松田さんの短歌の中から一首を選び、その短歌を読んであなたが感じたことや考えたことを、「【選者より】」を参考にしながら、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 選んだ短歌の中の言葉を取り上げて、想像で
きる情景や心情を書くこと。

条件2 条件1で想像した内容について、あなたが感じたことや考えたことを具体的に描くこと。

みんなの短歌

今回は、新年度を迎えたフレッシュな心境を表現した作品が集まりました。

目が覚めるジリジリと鳴る前に胸が高鳴る入学の朝
中一 泉 あきら

【選者より】「ジリジリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」という表現から、いつもは目覚まし時計の音で起きているのに、この日の朝は、胸がどきどきして目覚まし時計が鳴る前に起きてしまったことが想像できます。入学式の朝は、新しい生活に思いを巡らせて、落ち着かない気持ちになるものです。

新しいノート教科書取り出して背筋伸ばして始まりを待つ
中一 内山 誠一

玄関の鏡の前でもう一度前髪笑顔ボタン笑顔と
中二 森川 りか

春風がいつもの道を駆け抜ける皆の足取り自然と軽く
中三 松田 花子

数学科より

学習指導要領の各領域すべてにおいて正答率が全国平均を5ポイント以上、上回っています。特に「数と式」に関する領域については10ポイント程度、全国平均よりも上回っていました。

問題ごとに見ても、全国平均よりも約10ポイント上回っている問題が多数あり、その中でも、問題番号5「2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める」問題、問題番号9の(3)「連続する4つの奇数の和が4(2n+4)で表されたとき、2n+4はどんな数であるかを選ぶ」問題は、全国平均よりも15ポイント以上、上回っていました。

その一方で、※図2 問題番号6の(1)「冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフについてグラフ上の点の差が表すものを答える」問題については、全国平均をやや下回っており、問題番号6の(2)「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する」は、全国平均を上回ってはいるものの、正答率そのものが低く、無解答率も全国平均より高くなっています。

これらのことから、基本的な知識は身に付いているが、それを応用して考えること、また、ある事象に対して考察したり、説明したりするということが今後の課題であると考えられます。

※図2

6 健太さんの家では、冷蔵庫の購入を検討しています。健太さんは、冷蔵庫A、冷蔵庫B、冷蔵庫Cについて調べたことを、次のような表にまとめました。

健太さんが作った表

	冷蔵庫A	冷蔵庫B	冷蔵庫C
容量	400 L	500 L	500 L
本体価格	80000 円	100000 円	150000 円
1年間あたりの電気代	15000 円	11000 円	6500 円

健太さんは、冷蔵庫A、冷蔵庫B、冷蔵庫Cについて、使用年数に応じた総費用を考えることにしました。そこで、それぞれの冷蔵庫において、1年間あたりの電気代は常に一定であるとし、次の式で総費用を求めることにしました。

$$(\text{総費用}) = (\text{本体価格}) + \left(\frac{1 \text{ 年間あたりの電気代}}{\text{電気代}} \right) \times (\text{使用年数})$$

例えば、冷蔵庫Aを購入して3年間使用するときの総費用は、 $80000 + 15000 \times 3 = 125000$ となり、125000 円です。

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 冷蔵庫Aを購入してx年間使用するときの総費用をy円とします。このxとyの関係を、健太さんは次のような一次関数のグラフに表しました。

冷蔵庫Aの使用年数と総費用

このグラフにおけるx座標が0である点をP、x座標が8である点をQとします。点Pのy座標と点Qのy座標の差は、冷蔵庫Aについての何を表していますか。下のアからオまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。

ア 本体価格
イ 使用年数
ウ 1年間あたりの電気代
エ 購入してから8年間の電気代
オ 購入して8年間使用するときの総費用

「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の領域においては総合で全国平均を6ポイント以上、上回っており、個々においても、ほぼ全ての問題で全国平均を上回っています。特に、問題番号9(1)「文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する」問題、(2)「与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く」問題、(3)「与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く」問題は、7問中5問が全国平均を10ポイント以上、上回っており、ライティングの力はかなりついていると考えられます。

その一方で、※図3 問題番号7「チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話文を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する」問題は、全国平均を約3ポイント下回りました。このことから、まとまりのある文章を読んで説明文の大切な部分を理解することができる力をつけていくことが今後の課題であると考えられます。

今回初めて出題された「話すこと」の領域においては、総合で全国平均を3ポイント近く上回っています。

しかし、問題によって結果が大きく異なっており、どんな問題に対しても即興で英語を話す力をつけていくことが今後の課題です。



生活質問紙調査より

昨年度、全国平均・京都府平均を大幅に下回っている顕著な項目としてあげた(19)「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」では、昨年度50%近くの生徒が「全くしない」と回答していたものが、今回は約30%と大きく減少しました。これは、「朝読書の取組」が徐々に良い影響を与えていると考えられます。「朝読書」で読書に親しむきっかけを得たことが家庭での読書に少しずつつながっているようです。しかし、「全くしない」と回答した生徒がまだ1/3近くいることから、読書をいろいろな考え方に触れる学びの場として捉えるとともに、他人の気持ちや思いを理解する心を伸ばすためにも、読んだ本について語り合える場を設定したりすることも必要であると考えます。



全国平均・京都府平均を上回っている顕著な項目としては、(4)「家の人と学校での出来事について話をしますか」、(6)「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」、(8)「将来の夢や目標を持っていますか」、(12)「学校へ行くのは楽しいと思いますか」、(15)「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」、



- 7 中学生の一郎は、スミス先生 (Ms. Smith) と話しています。次の会話文中の () に入る最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

Ms. Smith: Ichiro, why don't you read this article? It's interesting.

Ichiro: Oh, thank you, but it's all in English. That's difficult for me.

Ms. Smith: This newspaper is for students. Try reading it!

Ichiro: OK.

[Ichiro reads the article.]

Chimpanzees are one of the smartest animals. They can do a lot of things. How smart are they? A team at a university in Japan found the answer. Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children in some ways.

Few animals can understand *janken*. In *janken*, none is the strongest among *rock*, *scissors*, and *paper*. Learning about the relation among the three is very difficult.

The team tried teaching *janken* to seven chimpanzees. They showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees. The chimpanzees got food when they pointed to the stronger one. Finally, five of the chimpanzees learned *janken*.

The team also tried teaching *janken* to some human children. They found that children could learn *janken* when they were about four years old. Through this study, they got the answer to the question: "How smart are chimpanzees?"

[A few minutes later]

Ms. Smith: What is the most important point in this article?

Ichiro: ().

Ms. Smith: Right. That is the main point.

- 1 Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children
- 2 Few animals can understand *janken*
- 3 The team showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees
- 4 The team found that children could learn *janken* when they were about four years old

(16)「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」が12～16ポイント上回っています。家庭で学校の話自由に話せる雰囲気があるということは、家の人からの適切なアドバイスも含まれていることでしょう。生徒は家庭でも学校でも自分自身の存在を認めてもらっているということが安心感と自信につながり、夢や目標に向かって頑張っているようです。また、そのことが「いじめを許さない」や「人の役に立ちたい」などといった主体的な態度につながっていくと考えます。



(1)「朝食を毎日食べていますか」は「どちらかといえば当てはまる」を含めると96%を超えています。また、(2)「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」では約82%、(3)「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」では約95%、(18)「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」では2時間以上学習している生徒は45%近くに迫っており、基礎的な生活習慣が身に付き、規則正しい生活の中で学習時間も概ねしっかりと確保できているようです。しかしながら、学習時間が塾や家庭教師も含まれていることから、そちらに頼りきりになっている場合も考えられます。将来のことを考えると、ぜひ中学生の間に自学自習の習慣も身に付けてほしいものです。



(23)「今住んでいる地域の行事に参加していますか」は「どちらかといえば当てはまる」を含めると全国平均より9ポイント、(24)「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」は5ポイント上回っていることから、小学生の頃から地域の方々の見守り活動などを経験したりしていることで、小学校とのつながりや地域に対しての愛着、興味・関心は比較的高いと言えます。しかし一方で、まだ60%に近い生徒が地域や社会に対して何をすべきかあまり考えていないという結果も出ており、学校が地域社会とつながり、地域の方々の協力のもと、生徒が学校で学んだことを外で生かすことができる地域・社会貢献の場を設定することなどが今後の課題であると考えます。



保護者の皆様へ

全国調査は、子ども達の学習状況を知り、子ども達の可能性を更に伸ばし、課題を解決していくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、望ましい生活習慣や日々の学習習慣の定着がその基盤となります。今回の本校の結果を見ると、学力は着実に伸びており、ご家庭でのお子達に対する積極的な関わりが成果となって表れています。引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。

それでは皆様、よいお年をお迎えください。

吹奏楽部 アンサンブル・コンサート！ ～ 心はホットに ～



12月19日(木)20日(金)の夕方、吹奏楽部による恒例のアンサンブル・コンサートが行われました。徐々に日が落ちるなか、美しく輝くイルミネーションをバックにした心温まるミニコンサートです。パート別に各楽器の持ち味を生かした選曲で、クリスマスソングや誰もが知っているおなじみのメロディーを次々と演奏し、この日のために練習してきた成果を存分に披露してくれたことでしょう。部活動を終えた生徒をはじめ懇談会で来校された保護者の方々も寒い中足を止めて聴き入ってくださいました。



3年生の本気モードを応援！ ～ 合格祈願 ～

2学期の懇談会が終わると3年生はいよいよ具体的な進路希望に向けて、ギアを一段も二段も上げて頑張りますが、それに合わせて、学校運営協議会の方が毎年西ノ京中3年生全員のために北野天満宮に合格祈願に行ってお下されています。さらに今年は、「合格をつかみとる」ということで「五角形のつり革」を自作していただきました。上には合格祈願ダルマも付いたスペシャルバージョンです！12月14日の土曜学習会で参加生徒の代表に願いを込めて片目に墨を入れてもらいました。後日、職員室付近に設置しますので、みなさんも願いを込めてつかんでみてください。

